

恐しいアメリカの軍事ブロック入り

山口 洋司



切り絵『NO WAR』山口洋司

「アメリカに平和憲法捨ててくる」（兵庫県 徳本公子）

4月12日朝日新聞の「朝日川柳」です。そのものズバリ、今回の岸田さんの訪米はこの句に凝縮されているようです。

満面の笑顔のバイデン大統領と岸田首相、ともに支持率低下で風前の灯火のふたり、必死です。国内向けに支持率上がるよう、まわりの演出どおりに動いています。

国賓という扱いに岸田さんは有頂天にも見えます。破格の待遇、裏返せば相当な無理、覚悟を押し付けられているのです。ちょっとした喜劇です。

しかし笑っている場合ではありません。岸田首相はそれに応えてアメリカから強要されていた敵基地攻撃能力や防衛費の異次元な軍事増強をちゃんとやりました、と胸をはり、さらにこれまで以上にアメリカを支えどこまでも付いていく、と擦りよっていきました。

約束した自衛隊と米軍の指揮統制の強化は、やがて軍事の日米統合となり、アメリカに指揮権を委ねることになります。自衛隊はアメリカの1部隊になり、全てのアメリカの戦争に関わっていくことにつながります。くしくもアメリカの高官が言いました。「60年の日米安保条約改定以来の最大の変化」。

また岸田さんは、世界の警察官としてちょっと陰りの見えてきたアメリカの役割を日本も分担して積極的に引き受けていくと宣言、さらに踏み込みました。リトルアメリカになってその役割を引き受けていくということです。

恐ろしいことです。アメリカの軍事ブロックに完全に入り込む宣言です。

これでは中国に絶交状を叩き付けているようなものです。いろんな確執があっても隣国中国と話しあってうまくやっていくというこれまでの道を狭め閉ざしてしまうものです。

軍事同盟 NATO のアジア版をつくりその盟主になろうとする下心もすけて見えます。

こんな危険な道をふたたび日本は目指したらおしまいです。

そんなことより今のアメリカとの屈辱的な地位協定を改定して、対等な2国間関係にあらためるべきです。憲法改悪に猛進するより先です。

岸田さん！もういちどアメリカに行って捨てた憲法をとりもどして来てください。